



## 東京ダート無敗のコスタノヴァがGI初制覇

女性騎手によるJRA平地GI制覇は史上初。快挙とともに、砂の新星が力強く誕生した。

2年連続JRA賞最優秀ダートホースのレモンポップが前年限りで現役を引退し、ダート界は新たな時代に突入していた。日本時間でこの日の未明、ウシュバテソーロやウィルソンテソーロとともにサウジアラビアへ遠征していたフォーエバーヤングがサウジCを制覇したニュースも入っていた中、東京競馬場では国内のダートマイルの頂点を争う一戦が行われた。

人気は割れていた。1番人気は前年のジャパングラフィックでフォーエバーヤングの2着だったミッキーファイト。根岸S圧勝のコスタノヴァ、武蔵野S勝ちのエンペラーワケアといった底を見せていない新勢力や、前年の覇者ペプチドナイル、この翌週を最後に定年引退となる音無秀孝調教師の管理馬サンライズジパンクらがこれに続いた。

ミトオーが引っ張ったレースは、息の入らない流れとなった。直線、好位の4、5番手を追走してきたコスタノヴァが先行勢に外から並びかけ、残り300mで先頭に立つ。外からミッキーファイトとペプチドナイル、最内からはサンライズジパンクが迫るが、これらの追撃を振り切っ

たコスタノヴァがそのまま先頭でゴールした。ここまで5戦無敗と得意の東京ダートで果たしたGI初挑戦初制覇。根岸Sから中2週での勝利に、木村哲也調教師は「間隔が詰まっていたのに走り切って、偉い馬だと思います」と語った。

短期免許で騎乗中のレイチェル・キング騎手はイギリス出身で、オーストラリアを拠点とする女性ジョッキー。2日前にサウジアラビアで騎乗し、そこから強行軍で再来日しての勝利だった。女性騎手によるJRA平地GI勝ちも史上初の快挙。オーストラリアでは数々の大レースを制している34歳の名手は「女性騎手ではなく、1人の騎手として勝つことができ非常にうれしいです」と笑顔で語った。

### 第42回 フェブラリーステークス(GI)

2/23 東京競馬場 1,600m(ダート・左) 晴・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手名	調教師名	タイム/着差	人気	通過順位
1	コスタノヴァ	牡	5	58	R.キング	木村 哲也	1:35.5	②	④⑤
2	サンライズジパンク	牡	4	58	幸 英明	音無 秀孝	3/4	⑤	⑬⑫
3	ミッキーファイト	牡	4	58	戸崎 圭太	田中 博康	1 1/4	①	⑦⑦
4	ペプチドナイル	牡	7	58	藤岡 佑介	武 英智	クビ	④	⑦⑦
5	エンペラーワケア	牡	5	58	横山 武史	杉山 晴紀	1/2	③	④④

コスタノヴァ  
栄光の蹄跡

9

ロードカナロア 113 M  
コスタノヴァ  
カラフルブラッサム(ハーツクライ)  
2020.4.3 生 安平・ノーザンファーム



牡5  
鹿  
58  
R.キング  
1990.7.31生  
吉田 勝己氏  
木村 哲也(美浦)

2025.2.2 東京  
根岸 S G III  
16ト 2人 1(113)  
57\*。横山 武史  
ダ1400稍 1:22.6

2024.8.14 盛岡  
クラスター CJpnIII  
13ト 2人 6(93)  
54\*。C.ルメール  
ダ1200重 1:10.9

2024.5.25 東京  
櫻 S  
16ト 2人 1(109)  
57\*。C.ルメール  
ダ1400良 1:21.9